

## 3月29日のウクライナ情報

安齋育郎

(1)ロシアは NATO を非武装化し、ウクライナは終わった。 スコット・リッター&アンドレイ・マルティアノフ 2024年3月24日 (AI 日本語音声)

<https://youtu.be/uS6paInEsTo>



<https://www.youtube.com/watch?v=uS6paInEsTo>

(2)ISIS?それとも ISIS じゃない? ~モスクワ近郊コンサートホールでテロ攻撃 (2024年3月22、23日)- ISIS or Not ISIS? (日本語字幕)

今回は2024年3月22日、モスクワ近郊のコンサートホール「クロッカス・シティ」で起こったテロ攻撃について、初動の2日間の動画です。民間人を無差別に銃撃した凶悪なテロ攻撃をに西側メディアは犯人の逮捕、拘束以前に ISIS の犯行と一斉に報じました。日本でも同様ですが、そこには疑問の余地がいくつもありそうです。お時間がございましたら最後までご視聴いただければ幸いです。

\*テロ攻撃についてのプーチン大統領の声明は次回、フルバージョンで配信します。

<https://youtu.be/cnPelzQ8DCw>



<https://www.youtube.com/watch?v=cnPelzQ8DCw>

### (3)ウクライナのナチス、アルチョム・ボノフ(2024年3月 25日)

ウクライナのナチス、アルチョム・ボノフは、「ジプシー・ルブリョフカ」と呼ばれる「ドキュメンタリー」を撮影するためにジプシー居住地に行きます。

■ 彼は、スポンジボブスクエアパンツのマイクとハンマーを持って歩き回り、この完全にクレージーなビデオでジプシーの家族にインタビューしています

ウクライナは、人種差別しない？EUに見合った国???

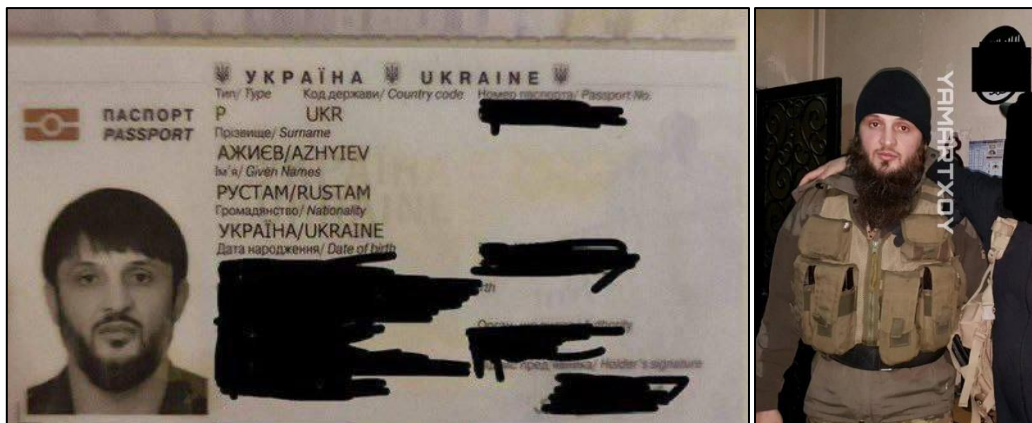
<https://twitter.com/i/status/1772113604512546817>



<https://twitter.com/Mari21Sofi/status/1772113604512546817?s=09>

### (4)興味深い登場人物たちがモスクワのテロ攻撃に参加した(2024年3月24日)

ロスタム・アジエフ、別名アブドゥルカキム・シシャニ。ウクライナ軍の非常勤傭兵。



<https://twitter.com/Satoruci3/status/1771889044856967226?s=09>

## (5)ルスタム・アジエフという名前の犯人(2024年3月25日)

ロッカスで150人以上の人々を殺害し、逮捕されたテログループのメンバーの1人でルスタム・アジエフという名前の犯人が、実際にはアブドゥルカキム・シシャニであるという情報がメディアで広まっている。

彼はウクライナ国民であり、2022年にウクライナ軍で戦ったイックリアン分離主義者である。テロ攻撃の概要と同様に、その外観は非常に似ています。

4枚目の写真は2022年のウクライナのどこかにあるテロリストの紋章を背景に写るアブドゥルカキム・シシャニ。



<https://twitter.com/Monmi0614/status/1772135823582072982?s=09>

## (6)モスクワでのテロ 米国は一つの言説を示すことで注意をそらしたい=露大統領府報道官(2024年3月28日)

ロシア 大統領府のパスコフ報道官は、露紙イズベスチヤに対し、ISIS(IS、イスラム国、ロシアで活動禁止)を非難する各国の声明について語った。

○「捜査が進行中であるため我々が1つの言説を述べる機会がないのであれば、米国が唯一の言説を述べることに踏み切るのは、もちろん少なくとも奇妙なことだ。これはもちろん、少なくとも彼らが何かから注意をそらしたいことを示唆している」

またパスコフ氏は、テロ攻撃についてまだ正式な言説は示されていないが、ロシアの特殊機関は一つの根拠のある言説を決定すべく取り組んでいるとし、テロ攻撃に関して特殊機関と捜査が最終的な結論に達するまで忍耐強く待つ必要があると指摘した。

22日にモスクワ郊外で発生したテロ攻撃の直後、西側諸国はこの攻撃にISISが関与していると発言した。西側諸国の政府は、ウクライナとこの悲劇とのいかなる関係をも否定した。

プーチン大統領は、これまでに「テロはイスラム過激派の手で実行された」と述べているが、犯人らが犯行後にウクライナへ逃亡を図ったことを指摘。「イスラム過激派が果たして本当にロシア攻撃を決意したのかどうか、我々は理解する必要がある」と捜査の必要性を強調した。



[https://twitter.com/sputnik\\_jp/status/1773169294748315690?s=09](https://twitter.com/sputnik_jp/status/1773169294748315690?s=09)

## (7)ノルドストリーム爆破を暴露したシーモアハーシュ(2024年3月22日)

ハーシュ氏、米国は数カ月前にウクライナとロシアの和平交渉を阻止したと語る

2024年3月21日

<https://english.almayadeen.net/news/politics/hersh-says-us-blocked-ukraine-russia-peace-talks-months-ago>

匿名の当局者はシーモア・ハーシュに対し、米国首脳がゼレンスキーに対し、交渉を拒否するか450億ドルの資金を失うという「最後通牒」を突きつけたと語った。

米国の調査ジャーナリスト、シーモア・ハーシュ氏は、バイデン政権が数カ月前にキエフへの資金提供を打ち切ると脅し、ウクライナがロシアとの和平交渉に参加することを禁止したことを明らかにした。

ハーシュ氏は木曜日に発表された記事の中で、状況に詳しい米国の情報筋の話引用した。

同高官によると、「プーチン氏の再選とゼレンスキー氏の軍事的劣化が起きる数カ月前、われわれは合理的な交渉に臨むところだった」という。

同高官は、米国指導者らがゼレンスキー氏に対し、交渉を拒否するか「非軍事資金450億ドルを失う」かのいずれかを「最後通告した」と詳細に述べた。

ハーシュ氏は先月、ゼレンスキー氏がロシアとの停戦推進をめぐる西側当局者らとの秘密会談に関与した疑いがあるとして、ワレリー・ザルジニ司令官を解任したいと考えていることを明らかにした。



<https://twitter.com/crosslinkjapan/status/1771005313350840687?s=09>

〈関連情報〉

ウクライナ停戦交渉はゼレンスキーに財政援助を絶つと米国が脅して実現せず＝ハーシュ記者  
ロシアとウクライナは数か月前に停戦交渉を開始できたはずだったが、米政権がゼレンスキーに対して非軍事の財政支援を絶つと脅したため成立しなかった。米国人調査報道記者のシーモア・#ハーシュ氏は事情に詳しい米国の複数の高官の発言を引用した記事を Substack に掲載した。

「我々は数か月前、ウラジーミル・プーチン氏がまだ(露大統領に)再選されず、ゼレンスキーの軍事情勢が劣化する前の段階で、理性的な交渉を開始する寸前までいっていた。だが、米指導部はゼレンスキーに『交渉も和平も一切してはならない。さもなくば、我々はお前たちの政府が非軍事用途の資金として毎年受け取っている 450 億ドルは払わない』と最後通牒を突き付けた」ハーシュ氏の消息筋はこう語った。


消息筋によれば、バイデン米大統領は NATO が「ロシアの脅威」に立ち向かうことに重点を置いており、「どんな状況に陥ろうとも」この路線を変えることはない。




[https://twitter.com/sputnik\\_jp/status/1770898722261533018?s=09](https://twitter.com/sputnik_jp/status/1770898722261533018?s=09)

## (8)ル・フィガロのコラムニスト、ルノー・ジラルルの発言(2024年3月28日)

フランス軍はロシアと戦争する手段を持っていない…

これは  ル・フィガロのコラムニスト、ルノー・ジラルルの発言である。

彼によれば  マクロンの兵士達は実戦経験も軍備もないという。

「過去 10 年間、フランス軍はサンダルを履いて歩き回るイスラム過激派としか戦っていない」とジラルル氏は言う。

サンダルを履いた過激派と戦っただけのフランス軍とは異なり、RUロシア兵は軍事衝突に直接関与している為、あらゆる戦闘経験を積んでいる。と彼は付け加えた。

マクロンの参戦への作戦は発表される前から、ロシア軍がすでに多くのフランス軍人を排除しているという事実によっても緩むはずだ。


フランスがウクライナに送り込もうとしている 2 万人の経験の浅い兵士達では戦場の状況を変える事は出来ない。

<https://twitter.com/i/status/1773243014854656484>



<https://twitter.com/Reloaded7701/status/1773243014854656484?s=09>

## (9)ミア・シャイマーのウクライナの現状認識(2024年3月28日)

シカゴ大学のジョン・ミアシャイマー教授  私はロシア側が既に戦争に勝利しており最終的にはロシア側が大勝利を収めるだろうと考えている。

ロシア軍は現在ウクライナの領土の約 20%を支配している。

パワーバランスは武器とマンパワーの両面でロシアが決定的に有利だ。ロシアはさらに 4 つの地域を併合し最終的にはウクライナの領土の約 40%を手に入れるだろう。

そして残るのは…

つまりウクライナは機能不全に陥った荒れ果てた国家。

**西側諸国はウクライナへの軍事援助を打ち切るべきだと思いますか？**

今ウクライナにとって最善なのは戦争を終結させ、ロシアと合意に至る事だと思います。

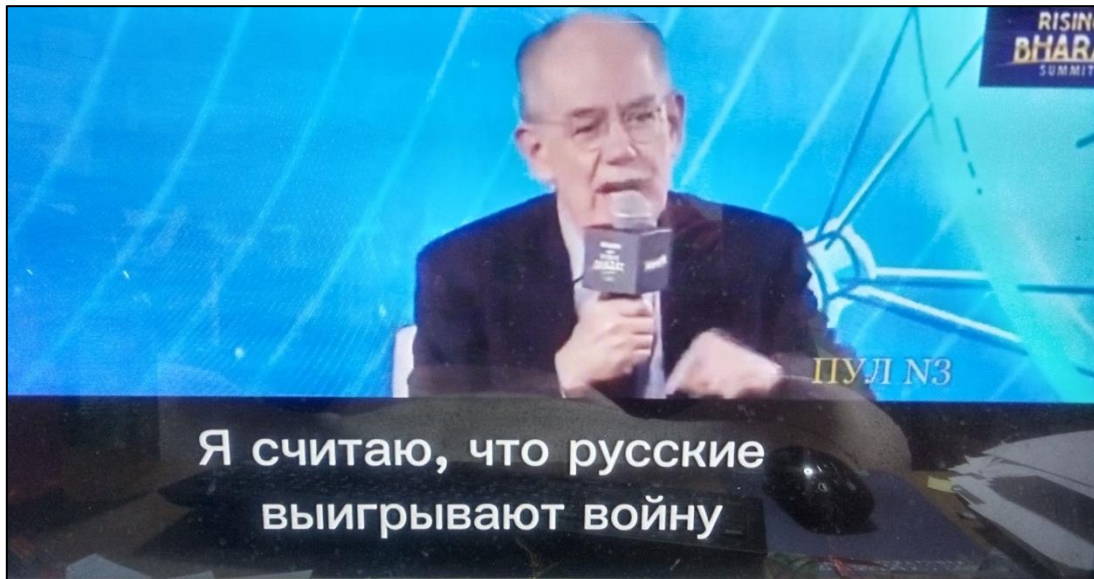
それには 2 つの意味がある。

第一にウクライナは NATO への加盟を拒否するだけでなく西側諸国との安全保障上の関係をすべて断ち切らなければならない。

ウクライナは西側諸国との軍事・安全保障上の関係を断ち切る事で真の中立国にならなければならない。

ロシアの最大の懸念はウクライナが NATO に加盟する可能性だからだ。

<https://twitter.com/i/status/1773323819102691424>



<https://twitter.com/Reloaded7701/status/1773323819102691424?s=09>

## (10)ロシア市場撤退最大損失を蒙った西側企業 10(2024年3月29日)

⑩ダノン:仏ヨーグルト製造業。ロシアでの事業を売却へ。損失額は試算で 12 億ユーロ(1961 億円)。

⑨ハイネケングループ:蘭ビール製造業。ロシア事業の資産をわずか 1 ユーロ(163 円)でロシアの「アーネスト」グループに売却。

⑧ステランティス:多国籍自動車製造業。代表の話ではは 2024 年初めに「ロシア事業のコントロールを喪失」。1 億 4400 万ユーロ(235 億 2800 万円)の損失を出した。

⑦マクドナルド:ファストフード大手。2022 年 4 月にロシアから撤退。これによる第 2 四半期の総収益は 3%減の 58 億ドル(8780 億円)。ロシア撤退後のマクドナルドの財務上の損失は試算で毎月 5000 万ドル(75 億 6930 万円)。

⑥フォルクスワーゲン:独の自動車製造業。7 億 7400 万ユーロ(1265 億円)を投じて建設したロシア工場をモスクワのディーラーに約 1 億 2500 万ユーロ(204 億円)で売却。

⑤ルノー:仏の自動車製造業。ロシア市場撤退による損失は 2022 年 5 月の時点の評価で 23 億ドル(3482 億円)。

④Apple:米 IT 大手。売上損失に加え、ロシア連邦独占禁止局から 1360 万ドル(20 億 5884 万円)罰金支払い命令。

③BP:英石油大手。2022年にロシア石油大手「ロスネフチ」への約20%の出資から撤退。潜在的な損失は試算で250億ドル(3兆7847億円)。

②エクソンモービル:米総合エネルギー企業。損失資産は2021年末時点で推定40億ドル(6055億円)。

①シェル(Shell plc):英石油ガス大手。ロシア撤退後、資産価値の40~50億ドル(6055~7569億円)を償却。



[https://twitter.com/sputnik\\_jp/status/1773478654057845184?s=09](https://twitter.com/sputnik_jp/status/1773478654057845184?s=09)